

先進医療 A 技術の取り下げに係る対応

1 技術概要

(1) 技術名

告示番号1 「高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術」

(平成 17 年 10 月 1 日告示適用: 先進医療 A)

(2) 申請医療機関等

○ 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター

秋田大学医学部附属病院

自治医科大学附属病院

東京大学医学部附属病院

聖マリアンナ医科大学病院

長崎大学病院

(※○は最初に実施計画を提出した医療機関)

2 経緯

- 先進医療会議においては、診療報酬改定の際に、先進医療に関する検証を行っており、令和4年3月 31 日時点で、先進医療から削除した技術が3件、継続審議(将来的な保険適用に向けて、指摘事項に対する回答を求めている技術)が3件となっていた。
- 継続審議の案件について、先進医療会議において、実施施設に対して、複数回(令和4年9月8日、10月6日、及び11月10日)にわたり実施状況等を確認したところ、当該先進医療技術については、先進医療として継続しても有効性・安全性に関する分析を実施することが困難であると判断され、第 116 回先進医療会議(令和4年 11 月 10 日開催)において、先進医療から取り下げを行うことが妥当であり、今後事務局で調整するよう指示があった。
- 事務局より、霞ヶ浦医療センター等に対して、患者に対して周知を行うよう依頼し、当センター等より、令和5年3月 31 日で先進医療を終了することは可能であることを確認した。

3 今後の対応

- 当該先進医療については、令和5年3月 31 日付けで、先進医療の技術に関する告示から削除する。
- 当センターで収集されたデータについては、引き続き有用性・安全性に関する分析を行うことを求めることとする。

●高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術の概要

告示 番号	先進医療技術名	適応症	概要	先進医療 適用年月日
1	高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	子宮 腺筋症	子宮腺筋症は、これまで子宮全摘術によって治療されてきた。腺筋症組織は、子宮筋層の中に複雑に入り込んでいることから、従来、腺筋症組織のみを正常の子宮筋層と分離して切除することは困難であったが、本技術は開腹後、新たに開発されたリング型の高周波切除器を用いることにより腺筋症組織のみを切除(核出)するものである。	平 17. 10. 1